

CSだより はいちゅう

令和5年7月発行

榛中生が考えた企画は未来の牧之原市の出発点！

3年生が牧之原市にある特産物や観光資源を利活用し、牧之原市や市内企業等にプレゼンテーションするために『牧之原市みらくるプロジェクト企画会議』を6月29日（木）に実施しました。

参加者は市役所（教育文化部部長・社会教育課・学校教育課・学校再編推進室・学校教育課・商工観光課・農林水産課・企画政策課政策監・地域振興課・IC北側整備事務所建設部）14人・地元企業関係（商工会青年部・マキノハララボ等）7人・オンライン参加4人・学校運営協議会委員4人・その他一部参加者を含め30人以上の地域の方が企画会議に参加をしてくれました。

＜発表テーマ＞

公共施設の利用 福祉教育	廃墟の屋敷	廃校で幅広い学問 が学べるんだぞ！	沼津を超せ！ アニメで町おこし
食べる・買う	大型ショッピング モールで有名に！	笑顔がうまれる カフェを作ろう！	フードロスゼロ 規格外野菜の活用
体験を提供する	Ocean Utopia 海に賑やかさを届けよう	牧之原の海でビー チキャンプ	Sea Park 牧之原を海の楽園に
公共施設の利用	駅周辺に娯楽施設 を作ろう	学校を再利用して 作る駄菓子屋	カラオケを作ろう
公共施設の利用	牧之原市を救って みた！	牧之原市をバズら せよう	榛中に色々な施設を 作っちゃおう！
体験を提供する	マリンアクティビ ティにチャレンジ！	Makinoharact	郷土料理店 学校給食
公共施設の利用	誰もが笑顔にショ ッピングモール	自然溢れる駅にショッピ ングモールを作ろう！	バスターミナルと 商業施設
公共施設の利用	誰もが楽しめるホ テルを作ろう	廃校をHappyに	レトロな商店街を 作ろう！



<評価の視点>

・発表のわかりやすさ・プロジェクトの説得力・魅力・実現の可能性



質疑応答の時間には、地域の方も様々な切り口から質問や意見を投げかけてくれました

参加者（地域の方）からの感想

◇は企画タイトル名

*紙面の都合上、一部の方の感想やアドバイスを掲載しました。（全体で83通の感想）

◇ マリンアクティビティにチャレンジ

- ・市の観光資源である海をつかった発想は良いと思った。実現するためには、利益が出ないとならないので、そのあたりを詰めたらと思った。
- ・対象の年代や家族構成ごとにゆっくり、たっぷりすごせる多様なオプションがあったらいい。実現ができそうな企画である。
- ・発表、カラー写真が「行きたい！したい！」と思わせる写真が使ってた。説得力もあり、実現できそうなプロジェクトだと思った。

◇ Sea Park ～牧之原を海の楽園に～

- ・非常に面白かったです。人をどう引きつけて、集客するか、より一層検討してみてください。説得力のあるプロジェクトでした。
- ・シーグラス・砂の造形、素晴らしいアイデアです。

◇ 牧之原市を救ってみた

- ・タイトルが良い。人を集めるにはインパクトが必要です。「サイゼリア」は意外でした。ピンポイントの提案であるが、さらに多角的に考えると面白いと思った。
- ・「サイゼリア」を廃墟となる場所に利用すると若者を引き留める手段となる。そこに目を付けたところは素晴らしい発想だと思う。
- ・素敵です。チェーン店に来てもらえるような素敵な町にしましょう。

◇ フードロスゼロ ～規格外野菜の活用～

- ・規格外マーケット or 規格外ジュース店をやってみてください。
- ・すぐにでも出来る提案です。農家の方が一人で出来る実現しやすいテーマだと思った。
- ・目の付け所が良いと思った。ぜひ商品化を！実現してほしいです。